

なる町づくりをめざし 挨拶

日置町長

江原

清



昭和61年
元旦

謹賀新年



輝かしい昭和六十一年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。と共に、町勢の伸展と皆様方が健康で幸せな生活を送られる事を心から念じているところであります。

さて、国を取り巻く内外の諸情勢は殊の外、厳しい昨今であります。各自治体の行財政運営もまた、年ごとに厳しい状況になりつつあります。私達は鋭意、高率のよい運営を求め、最善の努力を傾注いたしているところであります。幸いにも、本町は、国、県等の上部機関の大変なご高配にあずかって、事業の進捗をみていますが、これもひとえ

に、町議会をはじめ、町民各位のご協力、ご支援のおかげであり、深甚なる謝意を表するものであります。

顧みますと、昨年三月、全国土地改良連合会主催による農村総合整備全国コンクールに中・四国代表として推薦され、見事三位の受賞の栄に浴したのであります。また、七月には、異常気象による長雨と集中豪雨により、町内各地で約二億三千五百万円（単独町費約二千万円）の被害を受けましたが、現年災害復旧八十五パーセントを目標に頑張っているところであります。また、体育祭、ふるさとまつ

り等皆様方の大変なご協力によりまして、終始盛会でありましたことにつき、厚くお礼を申し上げます。

今年の主な事業として、継続事業の県営かんばい事業、県営ほ場整備事業、県営長門海域総合開発事業、農村総合整備モデル事業、農村基盤総合整備事業、新農村地域定住促進対策事業、新市農免道、団体営農道、漁港改修事業、林業構造改善事業、町道改良（神田校線、西坂本・野田線、黄波戸口・茅刈経由黄波戸線）、水道事業、土地改良事業、町営住宅建設事業等の諸事業、また、地場産業の振興、企業誘致等による経済基盤の強化・充実、青少年の健全育成、スポーツの振興、社会教育の充実、社会福祉の向上等の諸施策に奮勇の努力をし、健康的で、明るい、豊かな、住みたくなる町づくりを目指し、決意を新たにいたしております。

今後、皆様方とのふれあいを深め、共に考え、共に歩む、町政の運営に専念し、皆様方の負託に応える所存でありますので、倍旧のご指導、ご支援を賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。

今年は寅年

『虎は千里を行って、千里を帰る』という諺があります。一般には、勢いの盛んなことゝの例えとして用いられますが、もう一つ別の解釈があるようです。さて、その虎は何をに千里の道をあわてて帰るのでしようか。

実は、虎は自分の子供のことが心配で戻るのであります。恐ろしいものの代表のように言われている虎ですが、大変に子供を大切にするのでそうです。

『虎の子』と言う言葉もこのあたりから来たのでしょうか。

虎はエトの動物たちのうち、日本に棲んでいない唯一の動物です。もともと、辰（竜）もいませんが、これは想像上の動物です。すからどこにもいません。

虎は中国をはじめ、東南アジアなどには広く分布していますから、エトのつくられた中国では、なじみのある動物だったのです。

もともと、虎は日本で見ることができないにもかかわらず、その存在はかなり早くから知られていました。七世紀までに書かれた日本書紀にはすでにその名が出ていますし、天武天皇の

怖いのは「消したつもり」と「消えたはず」